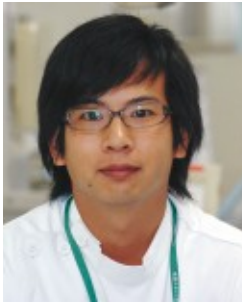


総合診療室（総診）を経験して

総合診療室を経験して

歯科総合診療部 研修医 米岡直哉



初めて総合診療室での診療を経験してから、もう1年以上が経ちました。その当時はまだ学部5年生の臨床実習という形ですが、実際に患者様に触れ、治療を行うことができる初めての機会ということで、期待と不安でいっぱいだったのを覚えています。最初は何をするのにも緊張し、また、総診の仕組みやカルテの書き方など分からないことだらけで戸惑い、患者様に迷惑をかけてしまうこともありました。診療前には十分に予習を行って、いざ診療に臨むのですが、なかなか思うように行かないことも多く、反省と復習の繰り返しでした。しかし、そんな中でも患者様に診療後「ありがとうございました。」と言葉をかけて頂くと、次はもっと頑張らねばという気持ちになり、とても励みになりました。また総診での臨床実習では、各診療科から専門の先生がライターとして、学生の指導に来て頂いているので、基礎的なことから時には専門的なことまで学ぶことができます。当時は、分からないことが多く日々の診療で手一杯だったので、自分自身、その環境を最大限活かすことができなかつたかもしれませんが、今改めて振り返ると、とても恵まれた環境で臨床実習を行っていたのだと強く感じるようになりました。

特に、総診での臨床実習を通して勉強になったのは、一口腔単位の治療方針を考え、治療を行うということでした。それまで講義や実習を通して、各分野ごとの治療や一本一本の歯についての治療については学んでいましたが、実際に患者様を相手にして、一口腔単位の治療を行うのは初めてで

した。そのため、X線写真や歯周検査記録を食い入る様に見つめ、仲間とも相談しながら、どう治療を進めるのが一番患者様のためになるか、必死に考えていましたが、なかなか考えつかず、何度もライターの先生の所に通ったこともありました。ライターの先生も親身になって教えてくださり、時には厳しく怒られることもありましたが、遅くまで学生の相手をしてくれて、迷惑をかけたこともあったと思います。本当にライターの先生方にはお世話になりました。

そんな総診での臨床実習を経て、私は今、歯科研修医として総診で研修を行っているわけですが、臨床実習を経験したおかげで、今年4月から新たに歯科研修医として診療が始まった時も、比較的スムーズに診療に臨む事ができたと思います。実際に患者様を相手に診療を行っていた経験が、とても強みになりました。今でも診療をする際には、臨床実習での経験を思い返して、参考にすることが多く、とても重要なものとなっています。また研修医として経験する総診は、学生の時よりも更に、中身の濃いものになっていると思います。診療時間も学生の時よりも短く、1日に診る患者様の数も増え、診療の手際と計画がとても重要になってきます。またライターの先生も、困った時には助けてくれますが、学生の時よりも私達自身に任せられる部分が多く、臨機応変に対応できる能力が身につきます。そのため、学生の時の臨床実習では、卒業後、歯科医になった際にすんなりと診療に臨めるための基礎知識と診療技術を学べ、歯科研修医として研修を行う総診では、臨床実習で学んだことを活かして、更に発展した知識と技術を学べます。このような環境で、学生そして研修医として研修を行えていることは、今後の私自身にとって重要な財産になると思います。この経験を活かして、歯科医師として充実した日々を送れるよう努力していきたいと思います。

最後になりましたが、臨床実習でお世話になっ

た先生方、また今でも総診でお世話になっている先生方、共に学んでいる同僚・友人達、そしてまだまだ未熟な私の診療を快く受けていただいている患者様に、心からお礼申し上げたいと思います。

総合診療部を経験して

歯科総合診療部 研修医 小林 ひとみ



総合診療部での学生実習を終えてから10ヶ月が経ち、今は研修医として歯科総合診療部にいます。学生の時の実習では、今までの模型を使った実習とは違い、初めて生身の患者様と向き合いました。当たり前ですが、今まで教科書や模型で学んできたことを、患者様にそのまま提供することは容易ではありません。教科書を読み、友人と話し合い、模型で練習してみても、自分がしてあげたい医療の5割も到達しないことが多く、自分の技術のなさ、勉強不足さに毎日反省の日々でした。それでも患者様に最後に笑顔で「ありがとうございました」と言われると、こちらこそ勉強させていただいてありがとうございましたという気持ちでいっぱいになり、また頑張ろうという励みになりました。配当された患者様の症例はどれ一つとして同じものはなく、患者様とコミュニケーションによってたくさんの発見があり、患者様に育ててもらっていると実感する1年でした。このような機会を与えてくださり、いつ

も厳しくも温かい指導をしてくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

新潟大学を卒業した今、学生の間から患者様を診させていただいたことは、本当に貴重な体験だったのだと再認識しました。これを無駄にすることなく、今年は研修医として歯科総合診療部で頑張っていきたいと思います。まず研修医は技工係があります。これは上級医にアシストとしてつく日です。これは技を盗むいい機会です。診療手順だけでなく、器具一つとっても、自分の臨床で引っかかっていたことを変えることになり、見ることは重要だと思いました。またペア診療することで、限られた時間で自分の患者様だけでなくペアの相手の患者様も診られるので、倍勉強になれます。なにより困ったときにすぐ相談できる仲間がいることは、とても心強いです。そしてここでも、指導医の先生方が、厳しくも温かく見守ってくださります。治療に迷った時は、いつでも相談に乗って的確なアドバイスを下さり、歯科医師1年目の私は、新潟大学の総合診療部を研修に選んで本当によかったなと思います。

一人の患者様にじっくり向き合いながら、素晴らしい上級医にたくさんのことを教えてもらって、自分の勉強ができる。こんな機会は、歯科医師人生の中で最初で最後なのではないかと思いません。研修医が終わるころには、歯科医師としての自覚と誇りを持ち、患者様に納得していただける医療が提供できるように、この1年を無駄にしないようにしたいです。先生方、これからもよろしくをお願いします。